



保育所 もちばら飾り 1月8日

お達者クラブのおばあちゃんたちと、もちばら飾りのお団子をつくりました。

2019
No.35

平成31年2月1日発行

12月定例会

- 12月定例会情報（補正予算、条例改正など） P2~3
- 村内の工事現場などを視察 P4
- 委員会活動「現場の声」を吸い上げ
グラウンドゴルフで生き活きと達者に！ P5
- 一般質問 村政を問う!! P6~7
- 議員レポート「子育てサポート日本一」を掲げ独自の施策を展開 P8~9
- 議会要望事項の回答（全員協議会） P10~11
- 村民の声「観光でふるさとを元気に」 P12

12月定例会

〈会期：12月12日～18日（7日間）〉

今定例会では5件の補正予算をはじめ、条例の改正など合計10議案が提案され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算の審議では、村道改良事業に伴う倉庫解体等の補償料などが可決されました。

また、会期中には、全員協議会を開催し、昨年9月に議会から村長へ提出した要望事項の回答を執行部から受けたほ

か、村道等の工事現場を視察し、工事の進み具合や完成した現場の状況などを確認しました。（詳細はP4・10～11）

一般質問には4名の議員が登壇し、台風等による倒木予防対策や、小規模事業者等の振興施策、小学校の英語教育の導入状況など、さまざまな角度から村の姿勢を問いただきました。

（詳細はP6～7に掲載）

おもな条例改正

55歳を超える職員の昇給を抑制

鳴沢村職員給与条例の一部改正

人事院の給与に関する勧告並びに国家公務員等の給与改定などに伴い、一部改正しました。

主な改正内容は、55歳を超える職員に対する昇給抑制や、国・県の給与改定を踏まえた月給・手当等の改正などです。

固定資産税の前納報奨金制度を廃止

鳴沢村税条例の一部改正

税金の納付方法の多様化により納税者の利便性が向上し、所期の目的が達成されたため、また、納税者間

の不公平感の解消のため、平成32年度より固定資産税の前納報奨金制度を廃止することとしました。



おもな補正予算

一般会計

使いみち

●村道改良事業 家屋補償料 (倉庫2棟の解体及び新築)	1096万円
●介護保険特別会計繰出金	498万円
●富士河口湖町道271号線 配水本管布設工事負担金	264万円
●人件費	253万円
●未熟児養育医療費	72万円
●訪問入浴サービス事業費	37万円
●公用車(消防団用フォレスター) 備品・保険料等	32万円
●後期高齢者医療特別会計繰出金	30万円
●子どものための教育・保育給付費償還金等	25万円
●道の駅なるさわ周辺観光案内マップ(増刷)	13万円
●償還金(臨時財政対策債元金)	11万円

2288万円を追加し、
予算総額は19億5624万円に

●みずほ銀行のPCサービス(一括伝送) 月額基本料金	9万円
●子ども・子育て支援交付金償還金	6万円
●H29地方公務員災害補償基金 確定負担金不足額	3万円
●国民健康保険特別会計繰出金	3万円
●償還金(臨時財政対策債利子)	△65万円

財源

●純繰越金	2206万円
●未熟児養育医療給付費負担金(国)	36万円
●地域生活支援事業費補助金(国)	19万円
●未熟児養育医療給付費負担金(県)	18万円
●地域生活支援事業費補助金(県)	9万円

介護保険特別会計

使いみち

●施設介護サービス給付費	2388万円
●地域密着型介護サービス給付費	1514万円
●居宅介護住宅改修費	40万円
●人件費	5万円

3948万円を追加し、
予算総額は2億9773万円に

おもな財源

●介護給付費交付金	1065万円
●介護給付費負担金(国)	918万円
●介護給付費負担金(県)	815万円
●第1号被保険者保険料	651万円
●介護給付費繰入金	493万円

後期高齢者医療特別会計

使いみち

●後期高齢者システム機器 更新作業委託費	27万円
●人件費	3万円

30万円を追加し、
予算総額は4390万円に

財源

●事務費繰入金	30万円
---------	------

(万円未満四捨五入)

村内の工事現場 などを視察

村内で行われた道路工事等の現場視察を12月13日に行い、工事の進み具合や完成状況の確認をしました。



村道89号線簡易歩道整備工事等

通学児童の安全確保のために、国の交付金を活用して小学校西側道路の拡幅とグリーンベルトの整備が行われました。併せて配水管も更新されました。



道の駅なるさわ防災駐車場整備工事

老朽化により損傷が激しかったいきやりの湯進入路及び駐車場が、国の交付金を活用して整備され、車両も多くとめられるようになりました。



村道Ⅱ-3号線簡易歩道整備工事等

老朽化していたため、通学路としての安全確保もふまえて、国の交付金を活用して駐在所からJA大田和支所上の交差点まで、舗装打ち換えとグリーンベルトの整備が行われました。併せて配水管も更新されました。

サル捕獲用大型囲いわな

サルによる農作物被害等の獣害防止のため、渡邊明雄宅西にサル捕獲用の大型囲いわなが設置されました。大きな効果が期待されます。



総務教育厚生常任委員会

委員長
小林 昭一

現場の声を吸い上げ

グラウンドゴルフで 生き生きと達者に！

12月5日に、生き生きと元気に活動している「お達者クラブ グラウンドゴルフ部」のみなさまと座談会を開き、活動の状況やご意見・ご要望などをお伺いしました。

グラウンドゴルフ部の皆さまからは、次のようなご意見等をいただきました。

- ◆ 遊びではなくスポーツとしてルールやマナーを守るように競技に取り組んでおり、指導員の資格を持っている者も多く、県内でもレベルが高い方だと思う。ここまでになれたのも、練習場所である生き生き広場の整備など、村で一生懸命サポートしてくれているおかげである。
- ◆ いつも30人くらい練習に参加しているので、屋内ゲートボール場のベンチを借りるなど、生き生き広場にもっとベンチが整備されているとありがたい。
- ◆ 部に入れるのはお達者クラブの方だけだが、最近では新入部員が少なくなってきた。70代前半ぐらいの方にもどんどん入ってもらいたい。広報などで「健康増進」をアピールして部員募集していただけるとありがたい。
- ◆ 芝生の上での競技なので、足腰への負担が少ない。グラウンドゴルフを始めてから、足腰周りに筋肉も付いて健康になった。
- ◆ 生き生き広場に生えている雑草の除去などは、委託しなくても、部員みんなが「生き生き広場を使わせてもらっている」という感覚なので、ボランティアでやろうという思いがある。
- ◆ 吉田高校に通う孫をたまに送迎しているが、とても大変である。送迎のバスがあるとありがたい。



座談会ではこのほかにも様々なお話しを伺いました。

部員募集の広報については、議会だよりの「村民の声」に登場していただくことなども提案いたしました。

これらの内容を受けて委員会で協議し、下記の事項を全議員で構成される全員協議会へ提言することを決定しました。

- ① 生き生き広場へのベンチの配備
- ② 周遊バス等の通学時間帯への増便

最初は週一回だった練習が、みなさん競技のおもしろさにはまり、今では週二回（木・土）練習しているそうです。お話しを伺っていて、とても和気あいあいと楽しく取り組んでいることが伝わってきました。

また、指導者資格を取ったり、大会でも優勝したりなど、実力も兼ね備えている点も素晴らしいと思いました。

これからも生き生きと達者に競技に励んでいただきたいと思います。





渡邊 政司 議員

超大型台風により大田和地区や別荘地では、約1週間にも及ぶ長期停電が発生した。自然災害に備えて、大坂道、鳴沢ゴルフに通ずる林道沿いの危険な樹木を整備していく必要がある。

林道を災害予防区域に指定して、並木通りを新たに設ければ、倒木による停電や通行止めによる孤立化も防止できる。並木通りを設ける考えは。

●村長 小林 優

電線を管理している東京電力では、5年に一度点検を行い、1年に一度、立ち枯れなどの危険性のある障害木の除去作業を実施しているが、路線ごとの支障木の管理はしていない。今後の防災対策としては、東京電力及び土地所有者へ

Q 倒木予防のため並木通りを設ける考えは

A 費用が莫大になるため不可能

支障木の把握と除去について適切に管理することを依頼し、停電による事故防止に努めていく。

防災を兼ねた並木通りづくりについては、土地所有者の理解を得るのが難しい。また、伐採費用も相当な金額になり、村で負担することは不可能である。

倒木予防は東京電力と土地所有者が対応していく必要があるので、災害予防区域などの指定は考えていない。



大型台風による倒木被害

Q 今後の村政運営は

A 公約や課題に鋭意取り組む

村長は、3期目を早くも半期終了したが、選挙公約の進捗状況は。

また、これからの村政運営はどのように行うか。

●村長 小林 優

選挙公約として、子ども医療費助成を高校生まで拡大、不妊治療費の助成、魔王天神社から三湖台への登山道の整備、溶岩樹型内の除伐、また、農産物の6次産業化のための補助金交付などを実施した。

このほかにも、光ケーブル網の整備、消防ポンプ自動車2台の購入と両分団の詰め所の建てかえ、道の駅のトイレ改修や入り口の自動ドア化、役場の電算システムの入替えなど多くの事業を実施してきた。

予算編成時に無駄を省くとともに、優先順位付けをしっかりと行い、補助金などの財源確保を積極的に行った結果、財政調整基金(※1)や公



小林 昭一 議員

共施設建設基金(※2)などの基金は、就任当時と比較して14億1400万円ほど積み増しを行うことができた。

今後は庁舎建設基本構想・基本計画の策定に伴い、東京オリンピック後の着手を見据えた事前準備などを考え、残された公約や課題に鋭意取り組んでいく。

(※1)財政調整基金

年度間の財政の変動に備えて積み立てる基金。

(※2)公共施設建設基金

公共施設の建設や公有地取得の財源として積み立てる基金。

Q 中小企業振興条例の制定は

A 全国や県内の状況を踏まえ検討

小規模企業振興基本法に基づき、地域経済を支える中小企業の振興と村の活性化を考え、中小企業振興条例を制定する考えがあるか。

●村長 小林 優

現在、村内の中小事業者は約100件で、河口湖商工会の約7.5%の会員となっている。村では、河口湖商工会と連携し、商工業事業者に利子補給金の補助と資金融資制度による支援を行っている。

小規模企業振興基本法は、平成26年6月に施行されたもので、全国の1741市町村のうち346の市町村で条例を定めたが、このうち村で条例を定めたのは15村と少ない状況である。



小林 利雄 議員

「国の制度改正があるものではなく、小規模事業者の事業を持続的に支援していく」という基本的理念を示した内容となっており、行政の責務、商工会の役割、中小・小規模事業者の地域社会への貢献などを明確にしたものである。

今後、全国や県内の状況を踏まえ、条例制定を検討していきたい。



小林 清一 議員

小学校の英語教育が2020年より本格的に導入されるが、時間割の組み方、担当の先生、専門家の配置など、どのように進めていくのか。また、中学校との連携は。

●教育長 渡 邊 伸 一

昨年度より、中学校で英語授業経験のある教員経験者3名が富士河口湖町と鳴沢村の9小学校を分担して英語教育を先行実施している。

鳴沢小学校5、6年の英語科授業は、外国語学科の教員と担任で週2校時、年間70校時の授業時間を確保。「英語によるコミュニケーション能力の基礎を養うこと」を目標とし、英語のスキルを育てることを主眼において授業を行っている。

また、3、4年は、年間で35校時の外国語活動を行い「カード、音楽、運動を取り入れ、英語の音になれ親しむこと」を目標としている。

Q 小学校の英語教育の進め方は

A 新学習指導要領(*)の内容を先行実施

低学年も、16校時の外国語活動を実施している。

湖南中入学時に町と村で同じ英語能力を有するよう歩調を合わせるため協議し、小学生から中学生に段階的につながるよう教科内容が編集される。

※学習指導要領

全国どの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするために文部科学省が定めた基準。新学習指導要領は平成32年度に施行され、改善事項のひとつとして「外国語教育の充実」が掲げられている。



5年生の英語の授業風景

「子育てサポート日本一」 を掲げ独自の施策を展開

— 福島県 矢祭町を訪ねて —

11月5日、「合併をしない宣言」や住基ネット不参加などで全国的に有名となった、福島県の矢祭町を訪れました。

矢祭町は「子育てサポート日本一」を掲げて大胆できめ細やかな子育て施策を実施しているほか、職員の自宅を出張役場として開放したり、公共料金や税金の支払いに商店街の商品券を使えるようにするなど、独自の施策を展開しています。

施策そのものもさることながら、町長の「国、県の方を向くのではなく、常に町民の方を向いていなければならない」という理念は、我々もあらためて心に刻むべき言葉であり、また、その理念に基づいた非常にきめ細かい、手厚い町民サービスを「それが当たり前のこと」と思いながらやっている」と話されていた職員の心意気には大変感服いたしました。

また、翌日6日には、平成30年4月に千葉県市川市にオープンした「道の駅いちかわ」を訪れ、様々な機能を有する最新の道の駅の状況を視察いたしました。

矢祭町を支える職員の思い

議員 小林 利 雄

矢祭町は、全国に先駆けて「合併をしない宣言」をして一躍有名になりました。

矢祭町役場では行財政改革を断行し、町長の報酬は総務課長と同じで、議員の報酬は全国で唯一の日当制を採用しています。

町では「子どもは町の宝、国の宝。元気な子どもの声が聞こえるまちづくりに努める」と規定しています。

「赤ちゃん誕生祝金」は、第1子10万円から、第5子になると200万円。また、子どもの医療費は本村と同様に18歳まで無料など、子どもに多くの予算を使っています。

人口は6039人と鳴沢村の約2倍で、職員は59名。町の職員は町民の奉仕者であるとの思いが矢祭町を支えているのだと感じました。



研修会場の「ユイパル矢祭」



丁寧に説明くださった矢祭町自立総務課長の片野さん



激務を心配する声に「当たり前と思ってやっている」と語る同課の大木主査



他の道の駅にはない独自性〔道の駅いちかわ(千葉県)〕

広報常任副委員長 渡邊明雄

「道の駅いちかわ」は東京都心に一番近いといいます。特産品などを取り扱うショップはもちろん、本格的なイタリア料理を堪能できるレストラン、一人ひとりの好みに応じて豆を焙煎してもらえるコーヒー豆店とカフェ、ラウンジ、カルチャースペース、FMスタジオなど、他の道の駅にはない施設がそろっていました。道の駅なのにすごいですね。

その反面、地元市川市や千葉県の特産品、地元で採れた野菜などは品揃えが少ないように感じましたが、施設全体が非常にきれいで、道の駅っぽくないおしゃれな雰囲気がありました。



副駅長の古田さん(左端)から丁寧な説明を受ける



ここでしか味わえないメニューが楽しめる「いちc a f e」



「いちc a f e 珈琲焙煎処」では自分好みの焙煎をしてくれます

東海自然歩道の景観保全等に関する要望書を提出しました

現在、東海自然歩道周辺の樹木が大きくなりすぎており、特に五湖台周辺ではその影響が大きく、富士山の眺望が著しく損なわれている状況となっております。

この状況を改善するため、昨年の12月12日に山梨県庁を訪れ、富士河口湖町長、鳴沢村長、富士河口湖町議会議員、鳴沢村議会議員、鳴沢村第一区及び第二区長の連名による要望書を知事へ提出いたしました。

要望書の内容は下記のとおりです。



1. 足和田山の東海自然歩道沿いの樹木を景観形成のため伐採すること。
2. 五湖台周辺の樹木を伐採し、富士山の眺望を良好な状態に回復すること。
3. 登山道に整備されている階段等を修復し、歩きやすい状態にすること。
4. 良好な景観及び登山道を維持するため、上記を定期的実施すること。

議会要望事項の 回答を受けました

12月13日に全員協議会を開催し、
村長へ提出した議会要望事項の回
答を受けました。

議会の要望事項と、執行部回答の
要旨は次のとおりです。

※内容を要約しています。

児童福祉について

子どもの健全な育成や体力の向上のため、小
学校・保育所等に体幹を鍛えられるような遊具
を設置したり、村の自然を有効活用した遊び場
を創設していただきたい。

【企画課】

保育所には、体幹を鍛える遊具などは十分備
わっています。また、小学校は、体幹を鍛える遊
具を中心に、平成28年度に整備しました。

自然を有効活用した遊び場については、必要
性を総合的に検討します。

高齢者福祉について

- (1) 高齢者向け行楽行事の継続・拡大や、介護予
防事業の更なる充実を図るため、スタッフ
等の支援体制を強化していただきたい。

【福祉保健課】

本村は近隣町村と比較しても手厚い高齢者福
祉事業を実施していると思われます。

近年はボランティアとして事業を手伝ってく
れる方が減っているため、理学療法士や看護資
格を持った方に依頼しながら事業を実施してい
ます。引き続きボランティアの募集を行うとと
もに、男性の事業参加者が増えるよう事業の充
実を図っていきます。



脳イキイキ教室

- (2) 総合センター・いきやりの湯などの和室へ
の椅子の配備や、いきやりの湯の通路・浴室

等への手すりの設置など、施設・設備のバリ
アフリー対策を推進していただきたい。

【企画課】

各公共施設のバリアフリー化には多額の費用
が必要であるため、今後、財政状況や補助金の有
無などを考慮し、優先順位を付けて対応してい
きます。

なお、総合センターは、状況に応じ和室でのイ
スの利用の対応を行っています。

観光施設整備について

- (1) 道の駅第3駐車場は、いきやりの湯への進
入路付近に大きな陥没が見られるなど老朽
化しているため、改修していただきたい。

【企画課】

陥没していた箇所については、村道の補修工
事に合わせて改修しました。



改修された陥没箇所

- (2) 魔王天神社東側の溶岩樹型について、駐車
場や構内を定期的に管理していただきたい。

【教育委員会】

駐車場周辺の植栽管理及び樹型内の枯葉やご
みの撤去など、定期的に行うよう関係部署と連
携し事業実施を推進していきます。

公共施設管理について

- (1) 公共施設の施設改修・建て替え等の優先順

位や、今後の改修計画等をわかりやすく開示していただきたい。

【総務課】

村では、各施設について、公共施設等総合管理計画を策定しました。計画の中では、公共施設について今後40年間の必要コストを算出しています。

今後は、それぞれの施設について、修繕や改修の優先順位について財政状況を考慮しながら、各施設の個別計画を策定し開示します。

(2) 体育施設について、設備等が古かったり、使われていない設備があったり、駐車場などが老朽化している。利便性の向上及び有効活用のため、設備の充実・改善を図りたい。

【教育委員会】

体育施設の設備等は、利用者の意見を聞き随時更新修繕を行っています。駐車場等の劣化は確認していますが、利用上支障はないため優先順位をもって対応していきます。

また、使われていない設備については、利用者が少ないため施錠していますが、利用希望があれば個別に対応しています。

(3) 体育施設等の利用予約について、インターネットを活用したり、管理体制を見直したりなどの改善を図りたい。

【教育委員会】

体育施設の予約については、以前インターネットでの予約体制の構築を検討した経緯がありますが、利用者の手続きや使用料の納付関係、費用対効果から導入が見送られました。

引き続き住民の意見を取り入れ、利用しやすい予約体制に改善していきます。

国道・県道について

(1) 行楽シーズンの渋滞解消や、災害時の避難経路の確保のため、東西を走る新たなバイパスの整備を国交省等関係機関に働きかけていただきたい。

【振興課】

村としては新たなバイパス整備よりも4車線化推進を考えています。

なお、バイパスの整備については、過去に当時の建設省によるバイパス整備計画に対して、地域の分断につながる等の要因により地域住民の合意形成が得られず、計画が頓挫した経緯があります。



行楽シーズンに渋滞する国道139号

(2) 国道139号沿いの歩道や周辺の草刈りなどの定期的な管理を国交省や土地所有者等に働きかけていただきたい。

【企画課】

甲府河川国道事務所長に対し、口頭にて要望しておりますが、今後も引き続き要望を行います。

また、民有地については、村広報等で周知を図ります。

(3) 駐在所前バス停付近の県道の轍(わだち)がひどく、通行車両の水はねが停留所の待合室まで飛んでくるため、道路補修の働きかけ並びに水はね防止対策を講じていただきたい。

【振興課】

県道を管理している富士・東部建設事務所に対し要望します。

その他

地域活性化や三世代交流の一環として、エポックホールを有効活用し、公開収録誘致や映画の上映等、家族で楽しめるイベントを開催していただきたい。

【企画課】

今年度、新規事業として「鳴沢村地域活性化支援事業補助金」を創設し、地域活性化と三世代交流等を推進するため、地域づくりを支援する制度を整備しました。

昨年10月に三世代交流イベントと映画の上映を行い、約150名の参加がありました。

今後も、住民による地域づくりを推進するなどエポックホールの有効活用を支援していきます。



映画鑑賞会での衣装コンテスト

観光でふるさとを元気に

私は市町村や観光協会、ホテルなど観光施設から構成される公益社団法人やまなし観光推進機構に県から派遣され、JRやNEXCOと連携して首都圏の駅や談合坂サービスエリア、大手のショッピングセンターなどで観光パンフレットを配布しながら物産販売を行っています。横浜駅などでの観光PRには、鳴沢村からも参加していただき、なるシカくんが盛り上げてくれました。



横浜駅で山梨の観光をPRするスパルくん、武田ひし丸、なるシカくん。

渡邊 一秀



冬の観光キャンペーンでは温泉を特集し、パンフレットとwebを連動してPRしています。山梨県の観光ゆるキャラの「武田ひし丸」が温泉に入浴するポスターや動画を作成して、インターネットやツイッター、談合坂サービスエリアのインフォメーションコーナーなどでPRしていますので是非ご覧ください。

休日には山歩きなどをしながら、仕事のヒントを探しています。これからも鳴沢の素晴らしい自然や景観を活かして、観光を地域の発展に繋げていけるよう頑張りますので、色々なアドバイスをお願いいたします。



富士の国やまなし観光ページ
(やまなし観光推進機構)



武田ひし丸
温泉入浴動画はこちら

広報常任委員推薦！ 鳴沢のおすすめ！ ランチ特集！

広報常任委員 小林 昭一

手打ち蕎麦 (あずま)

食材の繊細な味わいを楽しんでいただくために、手間ひまを惜しまないのは当たり前。安心・安全なものを提供するために、店主自ら産地まで出向いて食材を厳選するこだわり。

あづまの蕎麦は、空気を含み、より甘味を感じられるよう「音を立ててすすり、少し噛



んで食べる」というふうにご飯で食べていただきたいです。特におすすめは平日限定ランチ(15食限定)天ぷら、蕎麦、小鉢、炊き込みご飯がついて1000円(税抜)です。

●お問い合わせは
手打ち蕎麦 あずま
TEL.0555-85-3833

議会からのお知らせ

傍聴してみませんが
次の定例議会は3月中旬
に開会予定です。

傍聴可能な日程は、
役場議会事務局までお気軽
にお問い合わせ下さい。

4月にCATVでも放映予定です。
ぜひご覧ください。

☎ 85-2311 (内線111)

総務教育厚生常任委員会より

いつまでも生き活きと達者に暮らせるよう、日頃から健康管理を心がけましょう。

村内の
医療機関

なるさわクリニック ☎0555-25-7571
なるさわ接骨院 ☎0555-85-3700
安富歯科医院 ☎0555-85-3955

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開
しています。また、本会議の会議録も公開して
いますので、ぜひアクセスしてください。

